

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		コベルプラス藤沢教室		公表日		令和7年 12月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	5人集団までは適切に活動できる。6人以上では狭さを感じる	人数により、課題や環境設定に配慮しながら集団活動を行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	指導員が増え、適切になった。	引き続き安定した運営を心掛けて維持に努める。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	子どもが入室する部屋は海の生物のイラストを貼り、分かりやすくしている。入れない場所にはx印で視覚的に分かりやすくしている。	更に視覚支援を増やしたり掲示の工夫をする。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	毎日掃除している。	チェックリスト等を有効に使い維持に努める。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	倉庫と事務所以外は入室出来るようにしている。必要があれば相談室をクールダウン室として使用する。	クールダウン室に荷物を置かない等、維持を心掛ける。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	適宜打合せしている。	頻度や時間を検討する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎回提供記録を書いて頂いて改善に繋げている。	頻度や時間を検討する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	適宜スタッフ間でミーティングを行っている。	頻度や時間を検討する。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	現時点では第三者評価を実施していない。	実施の必要がある場合には、本部と情報を共有し検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	動画での研修機会がある。外部の研修にも参加可能。	適宜職員内で共有する。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	適宜作成し、公表に努めている。	現状の維持に努める。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	適宜計画しながら面談等を行い、客観的に分析し反映させたくうえで作成している。	適切に時間配分や計画などを維持していく。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	適宜支援会議をしている。	新しいスタッフにも共有して現状の維持に努める。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	適宜カンファレンスを行い共有している。	新しいスタッフにも共有して現状の維持に努める。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	共通のシートを使い行っている。	新しいスタッフにも共有して現状の維持に努める。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	各項目を設定している。	更新等の際には都度検討していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	イベントなどでは全員で会議をして決めている。	新しいスタッフとも共有して行っていく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	集団や個別でも担当をローテーションに行っている。ステップを踏んだ支援が出来る。	細かく部屋割りを変える等の更なる工夫を検討する。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団活動希望の方には枠を提示し、来所を促している。	更に様子を見て提案させて頂く。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	午前、午後それぞれ打ち合わせをしている。	現状を継続できるように努める。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	午前、午後それぞれ打ち合わせをしている。	現状を継続できるように努める。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の記録が義務付けられている。	現状を継続できるように努める。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングを実施している。	現状を継続できるように努める。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	全員で行っている。	欠席しないように事前に予定を確認しておき、参加する。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	必要に応じて、園や他事業所と連絡を取り合ったり、見学に行っている。	密な連携を心掛けていく。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	必要に応じて、園や他事業所と連絡を取り合ったり、見学に行っている。	更に密な連携を心掛けていく。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	情報共有シートを活用して連携を取っている。	更に密な連携を心掛けていく。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	事業所連絡会に参加している。	更なる機会が設定できるように検討する。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	園訪問で関わりを持つようにしている。	積極的に訪問等が出来るが良い。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	フィードバック時に子どもの状況を伝えあっている。	更に細やかな対応を意識していく。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	提供の予定がある。	定期的な開催を検討できると良い。	
	保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	時間をかけて契約時に説明している。	更に細やかな対応を意識できると良い。
		36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的に面談を行い、利用者様の意思を尊重できるように努めている。	更に細やかに寄り添い、尊重できるような支援を心掛ける。
37		「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	提示しながら説明し、同意を得るようにしている。	更に細やかな対応を意識できると良い。	
38		定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	個別な相談の要求があった際には迅速に対応するよう心掛けている。	更に細やかな対応を意識できると良い。	
39		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	集団活動の際など、利用者様が複数いらっしゃる場合には機会の提供を心掛けている。	更なる機会提供の検討が出来ると良い。	
40		こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	すぐ面談の時間を設けるようにしている。	更に迅速で細やかな対応を心掛ける。	
41		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	小まめな連絡を心掛けている。HPやインスタグラムを活用している。	更に迅速で細やかな対応を心掛ける。	

	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	鍵をかけ保管している。	取り扱いの留意を維持する。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	視覚支援を取り入れたり配慮している。	更に細やかな配慮を意識する。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	体制を整えて意識している。	地域連携の強化を図れると良い。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	定期的に研修、訓練を行っている。	現状を継続できるように努める。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	定期的に訓練を行っている。	現状を継続できるように努める。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	個人ファイルの分かりやすい場所に書き込む等の工夫をしている。	現状を継続できるように努める。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	個人ファイルの分かりやすい場所に書き込む等の工夫をしている。	適宜確認するように努める。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	定期的に研修、訓練を実施したうえで支援を行うようにしている。	現状を継続できるように努める。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	契約時に周知を徹底している。	現状を継続できるように努める。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットが起きた際は全体で共有、その後ファイリングしている。	現状を継続できるように努める。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	定期的に研修を行っている。	現状を継続できるように努める。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	予め共有で決定した内容を契約時に説明し、同意を頂き署名をもらっている。 個別支援計画にも記載している。	適宜職員間でも確認、共有し維持が出来るように努める。